



令和5年度

11月人権一口講座



「困っている人をサポートする・共生社会をめざして」

ヘルプマークは義足や人工関節を使用している方、内部障がいや発達障がい、難病の方など、外見からわかりにくい障がいのある方が、周囲の方に配慮や支援を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくするよう東京都が作成したマークです。

（どんな時に示すの？）

- （例）○日常生活の中でちょっと手助けが必要なき ○災害発生時や、避難所で過ごす時
- パニックや発作を起こした、急な体調不良などの緊急なとき ○道に迷ったとき
- （ヘルプマークを見かけたら？）

（例）○電車やバスの車内では、席をゆずるなど思いやりのある行動をお願いします。

○「ごうじましたか」「お手伝いしましょうか」などと声をかけ、できる範囲で配慮や、災害時は安全に避難する支援をお願いします。

※熊本市障がい福祉課ホームページより一部引用

障がいの「ある・なし」にかかわらず誰もが日々生活する中で困ることが無くなる（減っていく）といいですよ。

先日、ニュースを見てみると「聴覚障がい者の買い物時の手助けをするエコバック」の紹介がありました。バックの表面に買い物物のやり取りに使ういくつかの言葉が絵と文字でわかりやすく書いてありました。聴覚障がい者の方々は自分たちの「ことば」として「手話」を使って会話されますが、多くの方はまだ「手話」は「わからない・これから」といった状況ではないでしょうか。

でもこのエコバックは手話が分からない方でも指差しされると「これのことね。」と伝えたいことを理解することができま

す。障がいのある方は「助けが欲しい!」と思っても、「言えない時」「行動に移せない時」があります。

障がいのある方から「ヘルプマーク」の提示や「支援グッズ」で助けて欲しいとサインを出された時には、「エコバック」を指さって行動していただけたらきっとみんなが笑顔になれると思います。

【関連する法律】

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」

障がいのある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながら、共に生きる社会をつくるため、

…（障害者差別解消法）が、平成28年4月より施行されています。



エコバック



ヘルプマーク

短いメッセージ 同じ立場で考えると 相手の心が 見えてくる
自分の心も 見えてくる

熊本市・熊本市教育委員会・熊本市人権啓発市民協議会のカレンダー 弓削小学校6年 西村良汰さん の作品より